

便物に該当しないもののうち、郵政大臣の認可するものの郵便料金を同条第1項第1号に定めるものと同一にするようにせられたい。

ここに本会議第14回総会の議により申し入れます。

理由

学協会または研究機関の出版する純学術雑誌・会報等のうちには、会員だけに配布して一般に発売しないため、または、毎月定期的に発行するものでないために、第3種郵便物の取扱を受けることができず、第5種郵便として2倍の郵便料金を支払っているものがすこぶる多い。しかるに、現在これらの学協会は財政極めて窮乏であつて事業の運営に甚しい支障を感じている。政府は、すでに昭和26年6月11日法律第227号によつて、民間学術研究機関がわが国の学術及び産業の振興上、重要な使命を有することに鑑み、これに財政的援助を与え、学術研究の遂行を容易ならしめる措置を講ぜられた。この趣旨を更に拡張し、学協会の上記の印刷物の郵便料金を軽減することによつて、これらの学協会に対し、学術振興上の使命を達成する便宜を与えられることを希望する。

2-45

庶発第144号 昭和28年5月6日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

国立大学新制大学院の予算的措置について(要望)

本会議は、本年度よりまさに発足する予定の国立大学新制大学院が主として研究者の育成、ひいてはわが国学術振興の礎石であるとの見地から、その施設と教官の充実に対する措置を講ぜられるよう要望してまいりました。

しかるに、新制大学院設置に対してとられようとしている措置は、不完全講座充実による小数の教官の増員と小額の学生経費の見積り及び僅かの文教施設費の増額に過ぎないのは甚だ意外であり、かつまた深く遺憾とするところであります。

いうまでもなく新制大学院は、多くの点で旧制大学院とはその理念と構成を異にするものであります。従つて速かに適当な施設を設け、教官を充実し、学生経費を増額しなければ、ただに大学院設置の目的を完遂することができないのみならず、更に教官の研究に対して著しい障害を与えるものと思われます。本会議は政府がこの実状を直視されて新制大学院が極めて不完全のまま発足することのないよう、速かに措置されることを本会議第14回総会の議により強く要望いたします。

2-46

庶発第145号 昭和28年5月6日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

産業技術審議会の強化について(要望)

本会議は、日本開発銀行が昭和25年度以降新技術の工業化のために行つた融資の状況について検討した結果、同融資が新技術の工業化に対して頗る有益であることを認めました。しかし同時に、同

行の融資上最も重要な資料の審査を行う機関である科学技術行政協議会産業技術審議会は、予算的にもまた人的にも弱体で審査活動の上に大きな制約を受けていることを知り、遺憾に堪えません。

つきましては、新予算の編成に当つて、この点を十分に考慮されるよう本会議第14回総会の議により希望いたします。

2-47

庶発第147号 昭和28年5月6日

文部大臣 日本育英会会长 あて(各通)

日本学術会議会長 魁山直人

新制大学院における奨学制度について(要望)

本会議は、新制大学院における奨学制度が研究者育成に対して不可欠であるとの見地に立つて、その確立を強く要望してまいりました。しかるに目下新制大学院に施行されようとしている特別奨学生制度は、従来学部学生に対して施行されてきたものであります。これをそのまま新制大学院修士課程に適用することは、その金額においてもその適用率においても極めて不充分であるとみなさざるを得ません。従つて、もしこの制度がそのまま施行されるときは、優秀な素質ある者を大学院に容れることが非常に困難となることを深く憂慮するものであります。

本会議は、新制大学院制度が修士課程といえども、大学における学部教育の延長ではなく、主として研究者の育成に目標をおくものであるとの立場から、従来の旧制大学院に対して施行されてきた特別研究生制度を拡充して新制大学院に対して施行されることを要望します。

2-48

庶発第146号 昭和28年5月6日

日本開発銀行総裁 小林中殿

日本学術会議会長 魁山直人

新技术工業化のための融資について(要望)

本会議は、研究成果実用化委員会において検討した結果、貴行が行つておられる新技术工業化のための融資状況は、漸次満足すべき方向に進み、本会議の意図するところに近づきつつあることを知りました。貴行の御努力に対し深く敬意を表します。

しかしながら、新技术の工業化は、現在決して満足すべき状態ではありません。貴行の融資総額が現在より増額されるならば、甚だ有益だと存じます。その実現に対して一層の御協力を賜りますよう御願い申し上げます。